

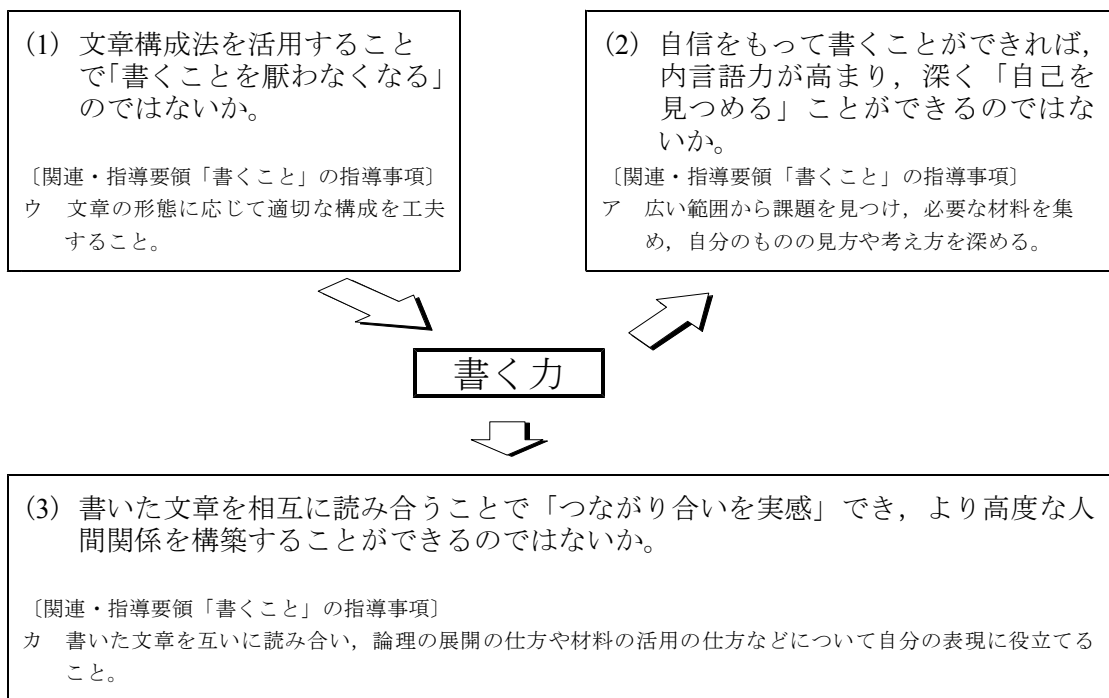
## A-1 研究の内容

### 1 仮説

構成法（「起承転結」「双括式」）を言語化して意識することで、自分の考えを論理立てて表現する力がつくのではないか。

### 2 ねらい

- (1) 文章構成法を身につけることで「書き方」を習得する。
- (2) 書くことを通してより深く考える力を養う。
- (3) 書いたものを相互に読み合うことで、ともに高まり合う集団を目指す。



### 3 具体的な実践

- (1) 構成法「起承転結」を意識した感想文の書き方（2年「ゼブラ」「字のないはがき」光村図書）
- (2) 構成法「双括式」を意識した報告文の書き方（3年「報告文を書こう」光村図書）